

住人十色

第
175
回



◎修理が終わり、生まれ変わった大太鼓を囲んで。皆さんの応援を力に、全国へ挑みます。

感謝の思いを音色に乗せて 全国の舞台から笑顔と感動を届けたい

内子高等学校郷土芸能部2・3年生の皆さん

内子高等学校の郷土芸能部は、8月に岐阜県で開かれる「第48回全国高等学校総合文化祭」に出場します。創部以降、18回目の全国大会です。演奏する曲は「五十崎大風出世太鼓」。代々受け継がれる楽曲の中心にあり、部のシンボルでもある大太鼓ですが、傷んだ皮の張り替えが必要な状態に。資金を募るクラウドファンディングに挑戦したところ、150人の支援者から200万円を超える寄付が集まりました。同部顧問の森本潔先生は「ありがたい、の一言に尽きる。卒業生らもSNSで拡散してくれて、つながりの強さを感じた」と感謝を口にします。

同部のモットーは、演奏を通して「笑顔と感動」を届けること。聴く人を元気にするエネルギーと、高い演奏技術の両輪が部の伝統です。大会に向けて、副部長の大野美羽さんは「自分たちが楽しみたい。それが一番いい演奏になる」と話すと、部長の西山穂乃さんは「先輩の演奏に感動したのが入部のきっかけ。憧れたちが感動をお届けする番」と意気込みます。最後に森本先生が「感謝の気持ち」を音色に乗せて、会場に響かせたい」と思いを語りました。

編集 幸記

▽秋田県横手市で開かれた「全国広報公聴研究大会」に広報係で参加しました。各地の広報担当者の皆さんとお話をして、紙面づくりへの思いや郷土愛を感じ、刺激を受けました。悩みを共有できる場ってありがたいですね。んだ、がんばろー(史)

▽全国大会で「編集幸記」いつも見えています。と言っていたきました。うれし〜！ 横手焼きそばなど地元の「んめもん(美味しいもの)」を食べたり、かまくらに入ったり……。貴重な経験でパワーを蓄えました(花)

町内無線放送が聞き取れなかった場合はお電話ください。

通話料無料の
フリーダイヤル
☎0120(44)2130

